

## 返還免除の流れ ～申請から決定まで～

### 1. 申請書類準備期間(～2/18)

必要書類を揃えてください、指導教員の推薦書(様式 1-3)は早めに依頼をしてください。  
また3月までで辞退をする者も今回の返還免除の対象となります、  
申請時に申請書類と一緒に辞退を申し出てください(手続き時に印鑑要)。

### 2. 申請書類受付期間(2/18(火)～2/21(金) 8:45～16:45 まで)

出張等やむを得ない事由がある者は事前受付をします、受付期間前に申し出てください。  
※すぐに選考に入りますので、受付期限終了後は受理しません。

### 3. 学内選考期間(3月～4月中旬)

まずは各研究科で選考を行い、その後学長以下で組織する学内選考委員会で免除候補者を決定します。

選考委員会で決定した免除候補者を、大学から日本学生支援機構に推薦します。

### 4. 免除者の決定(4月下旬～6月)

申請書に記載の現住所に結果通知が郵送されます。

不許可者・・・学内選考から漏れた方には、4月下旬頃に大学から届きます。

免除決定者・・・6月中旬頃に日本学生支援機構から届きます。

## 大学院業績優秀奨学金返還免除申請を希望する学生のみなさんへ

日本学生支援機構の大学院第一種奨学金の返還免除について、注意事項をお知らせいたします。

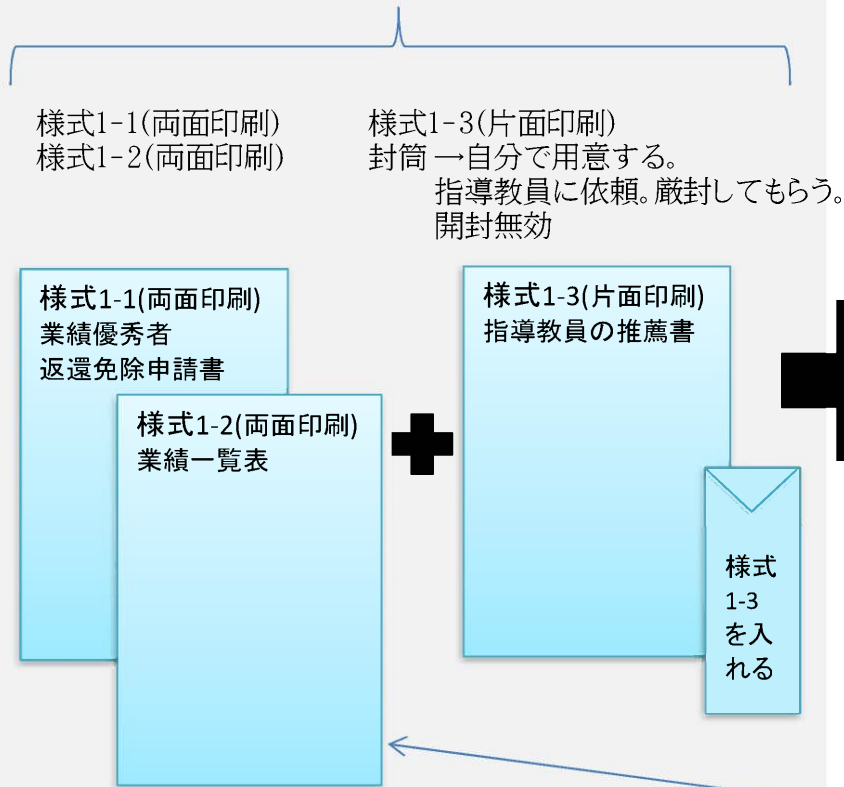
- (1) TA・RA・SA の証明書類は、本学より配付した「雇用通知書」または「源泉徴収票」などの写し(コピー)を提出してください。もし紛失等によりこれらの書類が手元にない場合は、返還免除申請書類一式を奨学支援担当へ提出する前に、RA・SA の場合は、各研究科係窓口へその旨を申し出てください。TA の場合は、教育企画課総務係が対応しますが、窓口がないため、奨学支援担当窓口へご相談ください。
- (2) 学位論文は、“全文”または“要旨(Abstract)のみ”のいずれの提出でも問題ありません。全文を提出する場合は、大きめのクリップでまとめてください。
- (3) 成績証明書の添付は不要です。不要ですが、下述(5)のとおり指定箇所に○を付けてください。
- (4) 業績を証明する書類には、必ず右上に資料番号を記載してください。その際、様式1-2で記入したとおり「1-1」「1-2」・「10-1」と大元の資料番号と枝番を記すようにしてください。
- (5) 指定の様式 1-1 オモテ面の下部について、  
「6.授業科目の成績」には全員マークを付けてください。  
  
「2.大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果」については、修士論文ではなく特定の課題についての研究の成果で最終試験を受ける者のみ、記入可能です。(30 年度入学者より、人文社会科学研究科博士前期課程でも一部コースで該当すると確認しました。)  
  
「3.大学院設置基準第 16 条の 2 に定める試験及び審査の結果」については、本学では該当無しとして取り扱っておりますので、無記入としてください。
- (6) 本学の関連規則およびガイドラインは奨学支援担当掲示板に掲示しています。

※理工学研究科の機械系コース所属の学生においては、別途コース指定の注意事項がございます。  
後日 web 学生システムを通じて周知いたしますので、注意してください。

学生支援課奨学支援担当  
全学講義棟 1 号館 1 階学生センター内  
TEL:048-858-3033

## 指定の様式があるもの

奨学支援担当のwebサイトから指定の様式をダウンロードし、作成。



※両面印刷と指定のあるものは必ず両面にして下さい。片面印刷では受け付けできません。

## 各自で作成・整理するもの

業績を証明する書類を資料番号順で整理し、

クリップで綴じてひとまとめにすること。

